

## 叢

かつては、叢のような街々の中で  
糊塗された幸福が笑いさざめいていた

勿論それは、単に  
お目出度かったに過ぎない

右へ倣え  
右向け、右

それに気付いた者たちには  
ちゃんと日陰が用意されていた

ひっそりと隠れたまま  
気の向くままに森を彷徨うことができた

それに比べて  
現代という奴はどうだ

ありがたいことに、逃げ隠れできぬよう  
ご丁寧に、すべての叢を刈り払ってしまった

お節介な為政者は言う  
光を、すべての恵まれぬ者たちに光を、と

そそり立つ塔は撒き散らす  
生臭い精子のように、無作為な生命欲を

ああ、何と煌々たる毎日  
その目映いばかりの明るさ

確かにこれでは  
ひっそり暮らすことなどできはしない

勝者と敗者を明確に区別し、なおかつ  
敗者には敬礼と崇拝を要求する——

新たな「お国のため」という概念  
それがサーチライトで人々を照射し、駆り立てる

自殺者は亡国の民としてしか見做されず  
追い詰められた自殺志望者は、じっと他殺願望を培養する

血に染まった月が微笑している

(2010.12.24)